

資料 1

旭川市科学館報

—令和 3 年度版—

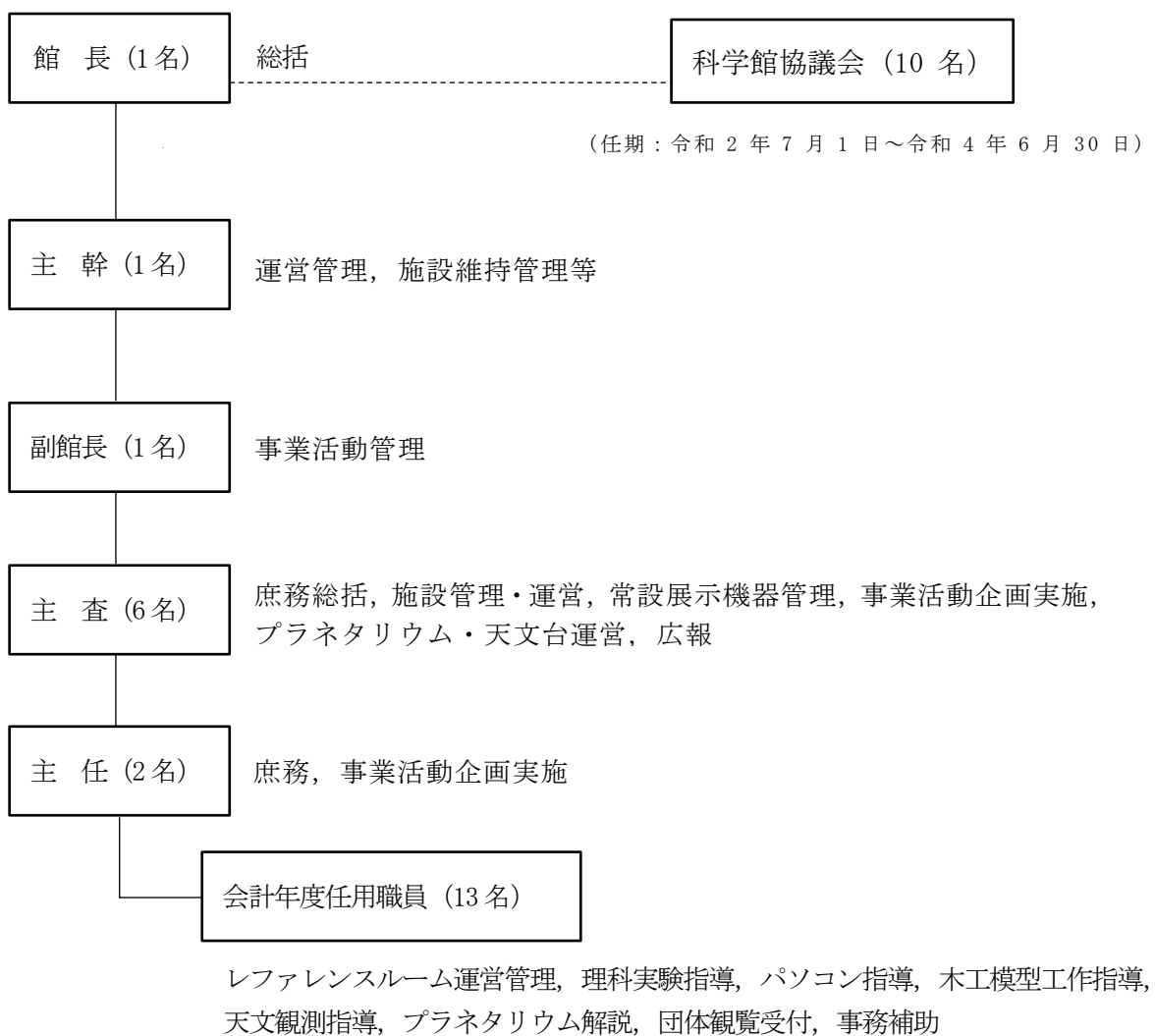
Vol.14
令和 4(2022)年

目

次

運営組織及び職員数	1
 I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 沿革	2
3 施設概要	3
4 主要設備等	4
5 利用状況	6
 II 学習普及活動	
1 展示事業	7
2 実験実習事業	8
3 イベント・行事	12
4 天文普及事業	15
5 学校等連携・人材育成事業	18
6 ボランティア事業	19
 III その他の取組	
1 調査研究活動	21
2 刊行物	21
3 広報活動	22
 IV 旭川市科学館利用案内	
1 開館日等	23
2 観覧料	23
3 貸室事業	25
4 施設へのアクセス	26

運営組織及び職員数



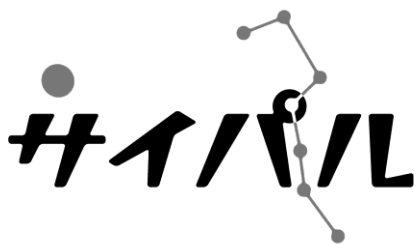
科学館職員 計 24 名
(令和4年4月1日現在)

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

現在、気候変動に伴う災害の増加や人為的な要因も含む生物多様性の損失など、私たちの生活と深く関係している様々な課題が、地球規模で発生しています。そうした課題に対応していくためには、科学の分野の枠を超えた、柔軟な発想をもつ人材の育成が必要とされています。

旭川市科学館「サイバル」では、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心や理解を深めるため、「ふしぎからはじまる＜科学＞との出会い」をテーマに、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とした多彩な学習普及活動を進めています。



旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間、友達）を組み合わせた言葉です。

また、様々な科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。

科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。



旭川市科学館
マスコットキャラクター
「コロッ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロッ・クルは、アイヌの伝承に登場するコロボツクルからネーミングされました。

2 沿革

昭和38年11月 3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年 1月30日	新築移転のため閉館
平成17年 7月23日	旭川市科学館「サイバル」 として現在地に移転、開館
平成17年 8月13日	入館者 10万人を達成
平成18年 5月 4日	入館者 50万人を達成
平成19年 8月10日	入館者100万人を達成
平成23年 3月13日	入館者200万人を達成
平成26年11月 9日	入館者300万人を達成
平成27年 7月23日	新館開館10周年
平成30年 7月15日	入館者400万人を達成
令和 2年 7月23日	新館開館15周年
令和 3年 2月25日	旭川市科学館施設整備基金「サイバル☆みらい基金」設置



旭川市科学館 外観

3 施設概要

旭川市科学館は「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置し、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことが大きな特徴です。

館内では多くの方が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階に、大小2基の天文台を4階に配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

また、シンボル展示「水竜」や、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など優れた地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

敷地内には、鳥や昆虫などを観察できる野外自然観察空間を設けているほか、屋外に雪室棟を設置し、冬期の駐車場の排雪を利用して夏期の消費電力を抑える雪冷房システムを導入するなど、環境に配慮した取組を行っています。

・所在地	旭川市宮前1条3丁目3番32号
・敷地面積	27,099.65 m ²
・延床面積	5,799.60 m ² （車庫棟・雪室棟を除く）
・構造	鉄筋コンクリート造、一部プレストレストコンクリート造、鉄骨造4階建
・総事業費	48億1,432万3千円（用地購入費、一部外構工事等除く）

（1）各室の内訳

1階	常設展示室（1,600 m ² ）	[4（1）常設展示室] 参照（P4）
	特別展示室（187 m ² ）	展示会やイベントを開催
	プラネタリウム（570 m ² ）	[4（2）プラネタリウム] 参照（P5）
	学習・研修室（156 m ² ）	126席、各種視聴覚機器
	インフォメーション	観覧受付
	エントランスホール	シンボル展示、休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	科学グッズ等の販売
	事務室ほか	—
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	[4（4）レファレンスルーム] 参照（P6）
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
	空調機械室、熱源機械室等	※一般開放スペースなし
3階	発電機室	※一般開放スペースなし
4階	天文台（90 m ² ）	[4（3）天文台] 参照（P5）
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台、大型バス6台 身障者用駐車場5台、自転車100台
	エントランス広場、円環広場	休憩・昼食場所、野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間（約5,000 m ² ）	在来種の雑木林、トンボ池、2基の野外展示など

4 主要設備等

(1) 常設展示

北国・地球・宇宙をテーマとした全 47 点の体験型の展示物、科学に関する 2D・3D 映像を上映するサイエンスシアターを設置。

	テーマ	展 示 名
展 示 物	北国 (全 8 点)	■氷河期と海面変位 ■虫の目から見た自然 ■雪の結晶 ■ナダレンジャー ■北国の天気 ■旭川ズームイン！ ■水滴のダンス ■低温実験室
	地球 (全 33 点)	■身体ズームイン ■内臓パズル ■呼吸のしくみ ■人体スキャン ■消化器のはたらき ■生命の誕生 ■風をおこそう ■ロボットサッカー ■ボールコースター ■電磁サークル ■手さぐりの通路 ■錯覚の部屋 ■光のサッカー ■ジャンボシャボン ■空中スクリーン ■光の三原色 ■影で遊ぼう ■バーチャルフライト (休止中) ■スピードガン ■ボディーアタック ■地震体験 ■火山をつくろう ■雲をつくろう ■対流をみよう！ ■人類の進化 ■地球環境問題クイズ ■燃料電池のしくみ ■大陸移動 ■温暖化から地球を救え ■三つも錯覚が含まれるふしぎな輪 ■ふらふら UFO ■いまの地球とみらいの地球 ■錯覚いろいろコーナー ※「ふらふら UFO」は令和 3 年 6 月 22 日より公開 ※「いまの地球とみらいの地球」は令和 3 年 10 月 1 日より公開 ※「錯覚いろいろコーナー」は令和 3 年 12 月 1 日より公開
	宇宙 (全 6 点)	■ムーンジャンプ ■宇宙ゴマ ■月の満ち欠け ■星の回転運動 ■宇宙旅行 ■クイズスペース 1
サイ エ ン ス シ ア タ ー	3 D	北国 ■雪の結晶 ■大雪山の成り立ち ■エゾモモンガ
		地球 ■巨大台風 ■オーロラ その神秘に迫る ■氷河と地球温暖化
		宇宙 ■宇宙ステーション ■暗黒ブラックホール ■毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星
	2 D	北国 ■石狩川夢の旅人
		地球 ■謎の深海底
		宇宙 ■テラフォーミング ～地球から火星へ～

※上記のほか、常設展示室内にキッズコーナーを併設している



常設展示室

(2) プラネタリウム

面 積	670 m ² (客室 232 m ² , ロビー228 m ² , プロジェクションギャラリー112 m ² , その他 98 m ²)
ドーム	直径 18m, 水平型・平面床 170 席 (うち固定席 73 席, 一部回転席 64 席, 2 人掛けシート 10 席, 車椅子スペース用移動席 23 席)
投影機	コンピュータ制御, 光源・光ファイバー式スターマスターZMP (カール・ツァイス社製), 全天周ドーム映像装置など付設
特 徴	・生解説によるマニュアル投影 ・国内初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機 ※導入当時 ・同心円配列の座席としては, 国内初の回転可動式座席採用 (一部)



スターマスターZMP (カール・ツァイス社製)

(3) 天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒 東経 142 度 22 分 13 秒 標高 143m
面積	173 m ² (大天文台 50 m ² , 小天文台 19 m ² , 準備室 20 m ² , その他 84 m ²)
大天文台	ドーム直径 8m, 口径 65 cm カセグレン式反射望遠鏡 (三鷹光器製) 及び付属望遠鏡 2 基設置, 光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
小天文台	ドーム直径 5m, 口径 20 cm 屈折望遠鏡 (三鷹光器製) 及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置, 太陽投影板・太陽用 H α フィルター, 太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
観測デッキ	口径 10 cm の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察



天文台設備

(4) レファレンスルーム

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)、双眼顕微鏡、その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体ほか

5 利用状況

(1) 施設利用者数(令和3年度)

(単位:人)

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動等 参加者	その他	合 計	令和2年度
4月	4,285	1,911	788	1,026	2,296	44	10,350	1,309
5月	3,525	1,716	557	715	2,390	7	8,910	420
6月	874	443	160	166	648	0	2,291	4,905
7月	8,753	5,000	1,348	1,769	4,574	28	21,472	9,190
8月	8,716	4,797	1,149	2,109	6,047	15	22,833	17,408
9月	0	0	0	0	0	0	0	15,914
10月	8,553	3,820	1,297	1,283	4,092	21	19,066	14,265
11月	6,866	3,438	1,377	1,266	4,337	14	17,298	10,357
12月	3,735	2,054	373	711	2,661	38	9,572	2,818
1月	3,295	1,586	378	632	3,849	64	9,804	4,667
2月	2,065	911	344	441	1,497	62	5,320	6,267
3月	5,825	2,602	985	1,362	4,561	115	15,450	10,363
合計	56,492	28,278	8,756	11,480	36,952	408	142,366	97,883

※日平均入館者数 590人/日(開館日数:241日)

※新型コロナウイルス感染拡大に係る緊急事態宣言に伴い、5月18日から6月20日まで(29日間)
及び8月20日から9月29日まで(37日間)の計66日間を臨時閉館

(2) 施設利用者数の推移

(単位:人)

内訳 年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動 ・その他	合 計	備 考
H24	115,940	60,930	13,959	14,730	63,726	269,285	6月～9月無休開館
H25	120,877	62,656	16,667	15,380	61,166	276,746	〃
H26	110,264	54,242	13,420	17,142	54,500	249,568	〃
H27	113,324	49,491	15,163	19,110	70,161	267,249	〃
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	〃
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃
R1	89,232	34,099	13,074	20,974	80,026	237,405	7月中旬～8月無休開館
R2	45,552	20,438	7,916	9,076	14,901	97,883	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/20～5/24臨時休館
R3	56,492	28,278	8,756	11,480	37,360	142,366	新型コロナウイルス感染拡大防止のため5/18～6/20、8/20～9/29臨時休館

Ⅱ 学習普及活動

1 展示事業

(1) 常設展示利用者数

(単位：人)

区分 月	個 人					団 体					合 計
	大 人	高校生	小 人	その他	小 計	大 人	高校生	小 人	その他	小 計	
4 月	1,879	62	1,911	127	3,979	22	22	184	78	306	4,285
5 月	1,777	40	1,452	114	3,383	0	0	94	48	142	3,525
6 月	353	7	333	29	722	0	0	126	26	152	874
7 月	3,094	62	3,398	279	6,833	0	35	1,524	361	1,920	8,753
8 月	3,784	99	4,045	271	8,199	0	0	380	137	517	8,716
9 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 月	2,255	51	1,999	147	4,452	45	0	3,446	610	4,101	8,553
11 月	2,534	26	2,196	194	4,950	22	29	1,426	439	1,916	6,866
12 月	1,516	38	1,314	113	2,981	24	0	541	189	754	3,735
1 月	1,431	27	1,424	125	3,007	0	0	221	67	288	3,295
2 月	1,068	16	728	107	1,919	0	0	103	43	146	2,065
3 月	2,694	110	2,354	210	5,368	0	0	337	120	457	5,825
合 計	22,385	538	21,154	1,716	45,793	113	86	8,382	2,118	10,699	56,492

※「その他」は観覧料免除者（手帳保有者若しくは要介護者とその介助者、引率者等）

(2) 企画展示「コロッ・クルの夏休み」

夏休み期間中に訪れる、こどもをはじめとした多数の来館者を対象として、体験型事業を集中的に実施し、科学に対する興味関心喚起、理解普及を促すこと目的として開催した。

【開催概要】

- ・主 催 企画展開催実行委員会
(旭川市教育委員会、サイエンスボランティア旭川、旭川市小学校長会、旭川市中学校長会)
- ・会 期 令和3年7月21日(水)から8月19日(木)までの30日間
- ・入場者数 2,938人
- ・内 容

実 施 事 業	事 業 内 容	参 加 人 数
サイパル GPSクエスト	各自のスマートフォンに入れたGPSアプリを利用し、文字や絵を探しクイズを解く	583人
ドローンサーキット	ミニドローン操作体験	1,014人
お盆週間サイエンスショー	サイエンスショーを毎日開催	1,341人
リモート科学館	事前に販売したキットとオンラインによる実験・工作の教室	販売個数 25個×4回

2 実験実習事業

(1) 講演・講座

ア 市民科学講座「サイエンス・セミナー」

	講 師	内 容	参加者数	開 催 日
第 1 回	岡田名誉館長	20 世紀の世界三大火山災害の教え ー十勝岳と有珠山の最近 7 回の噴火からー	16 人	8/8
第 2 回	渡部潤一顧問	はやぶさから, はやぶさ 2 へ ー日本の小惑星の探索ー	17 人	11/21
第 3 回	小林快次顧問	恐竜ハカセのトークライブ	50 人	2/13

※第 1 回及び第 2 回はリモートでの開催

イ その他の講演・講座

内 容	参加者数	開 催 日
野鳥講演会	ー	(中止)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 3 年度は開催中止

(2) 実験実習・体験講座

ア 科学館クラブ

	クラブ名	内 容	対 象	参加者数	開 催 日
前 期	星・宇宙	季節の星座や一等星, 惑星の解説と望遠鏡による観測	小 3～中学生の親子	36 人	5 月～7 月の 土・日曜日 (2 回)
	理科	実験, 工作, 観察	小 3, 小 4	69 人	5 月～7 月の 木・日曜日 (5 回)
	実験	実験, 工作, 観察	小 5, 小 6	29 人	7 月の日曜日 (2 回)
	電子・工作	木工と電子工作「ゴム銃とマイコンターゲット」の製作	小 4, 小 5	35 人	6 月～10 月の 土曜日 (4 回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って, プログラミングの考え方を学ぶ	小 4～小 6	187 人	6 月～10 月の 日曜日 (7 回)
後 期	星・宇宙	季節の星座や一等星, 惑星の解説と望遠鏡による観測	小 3～中学生と保護者	94 人	11 月～3 月の 土・日曜日 (5 回)
	理科	実験, 工作, 観察	小 3, 小 4	69 人	10 月～12 月の 日曜日 (5 回)
	実験	実験, 工作, 観察	小 5, 小 6	70 人	10 月～12 月の 日曜日 (5 回)
	電子・工作	木工と電子工作「LED あんどん」の製作	小 4, 小 5	91 人	11 月～2 月の 土曜日 (10 回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って, プログラミングの考え方を学ぶ	小 4～小 6	250 人	11 月～2 月の 日曜日 (10 回)
通 年	センサ・マイコン	マイコンカーを使ってセンサの使い方とプログラミングを学ぶ	小 5～中学生	84 人	6 月～2 月の 土曜日 (12 回)
冬 期	理科	実験, 工作, 観察	小 3, 小 4	56 人	1 月～3 月の 日曜日 (5 回)
	実験	実験, 工作, 観察	小 5, 小 6	54 人	1 月～3 月の 日曜日 (5 回)

イ 親子でチャレンジ！わくわく実験室

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
親子で簡単な実験実習を体験	小1, 小2 と保護者	90 人	5 月～7 月の 土曜日 (4 回)
		164 人	10 月～12 月の 土曜日 (5 回)
		152 人	1 月～3 月の 土曜日 (5 回)

ウ こども科学博士

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
こねってサイエンス	年中, 年長と保護者	34 人	7/23
ガウス加速器	年中～小1 と保護者	38 人	8/1
君もマジシャン！	小1～小3 と保護者	38 人	8/9
ブルブルくんづくり	小1～小3 と保護者	34 人	12/26
磁石のふしぎな動き	小1～小3 と保護者	40 人	1/9
錯覚を作ってあそぼう	年中～小2 と保護者	52 人	1/10

エ ちょっと大人の科学実験

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
食品のパワーを化学する	中学生以上	2 人	12/18

オ パソコン基礎講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
Word の基本	大人のパソコン初心者	—	(中止)
インターネット基礎編		10 人	8/7
ホームページ活用編		8 人	1/15
はじめてのExcel		19 人	3/5, 6

カ はじめてのかんたんプログラミング

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用し初級程度のプログラミングを親子で学ぶ	小2, 小3 と保護者	200 人	7/23～7/25 1/8～1/10

キ 親子プログラミング体験

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミングアプリ「ビズケット」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	5 歳～小1 と保護者	66 人	8/1 12/26

ク スクラッチでゲームを作ろう

※マイクロビットであそぼうを中止 (マイクロビットが入手不可のため)

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用し中級程度のプログラミングを学ぶ	小5, 小6	6 人	2/13, 20, 27

ケ 中高生のパイソン講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミング言語「Python」の基本文法を学ぶ	中学生・高校生	15 人	10 月～1 月 の金・土曜 日 (15 回)

コ 地学体験学習

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
化石採取会	小学生以上	20 人	7/11, 17
アンモナイト化石の中を調べよう		17 人	7/28, 8/11
アンモナイトクリーニング体験		20 人	7/30, 8/13
河原で石拾い&石磨き		37 人	7/31, 8/7
鉱物標本作りと岩石調べ		49 人	10/13, 11/27 2/23, 3/26
バスツアー「神居古潭と石狩川からひもとく『あさひかわ』」		6 人	11/13

(3) ものづくり教室

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
市民木工教室	高校生以上	10 人	5/15, 16
		—	(中止)
		9 人	10/23, 24
		8 人	2/19, 20
親子木工教室	小3, 小4 と保護者	18 人	8/1
		16 人	1/9
ジュニア木工教室	小5～中学生	16 人	8/9
		3 人	1/10
親子とんとん工作	小1, 小2 と保護者	40 人	7/22, 25
		40 人	12/26, 1/23
糸のこ体験工作	どなたでも	682 人	1 月～3 月 (15 回)
初歩の電子工作	小3, 小4	19 人	7/25, 27
		9 人	7/31
		18 人	12/25, 28
趣味の電子工作	高校生以上	2 人	7/11
		2 人	12/12
		5 人	3/5

キッズ電子工作	モールス練習器	小4～中学生	14人	7/29, 8/7
	IC ラジオの製作		14人	12/26, 1/8
親子かんたん 電子工作室	光の三原色を作ろう	小1～小3 と保護者	30人	8/4, 8 12/26, 1/10
はんだづけレッスン	初級	小学4年生以上	3人	7/17 11/20
	中級		2人	10/9
テック・ラボ	やってみよう 3D プリンタ	小学生以上	76人	10/1, 2, 3, 9, 16, 23, 30
	やってみよう 刺しゅうミシン		54人	11/6, 13, 20, 27
	やってみよう レーザ加工機		44人	12/4, 11, 18, 25
	やってみよう カッティングプロッタ		26人	1/8, 15, 22, 29
	やってみよう 3D プリンタ		48人	2/5, 12, 19, 26
	やってみよう 刺しゅうミシン		16人	3/12, 19, 26
	オープンラボ		362人	10/8～3/27 の金・日曜日

(4) 自然観察会・自然体験学習

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
トンボ池の観察	小学生と保護者	—	(中止)
特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	84人	6/26 10/2, 9
サケ遡上見学会		18人	10/23
冬の自然観察会		12人	2/27



特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう



サケ遡上見学会



冬の自然観察会

3 イベント・行事

(1) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

内 容	参 加 者 数	開 催 日
「科学マジック」など、月毎にテーマを変えたサイエンスショー	2, 256 人	土曜日(計 38 回)

イ 低温実験

内 容	参 加 者 数	開 催 日
氷点下 30℃の低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	1, 180 人	土日祝及び長期休暇期間(計 111 回) ※休館日を除く

ウ わくわくワーク

内 容	参 加 者 数	開 催 日
落ち葉で標本づくり	16 人	11/27
単極モータを回してみよう！	6 人	12/4
幾何学模様の美しいヒンメリ	15 人	12/11
誕生日の星空を見てみよう	12 人	12/18
ガウスの加速器	15 人	1/22
スライムの手	26 人	1/29
とんとんクラフト	20 人	2/5
小鳥のやじろべえを作ろう	14 人	2/12
ゾルゲルねんど	24 人	2/19
夜光るプラスチックの飾りをつくろう！	15 人	2/26
モールス通信たいけん	11 人	3/5
磁石であそぼう	69 人	3/12

エ ミニミニ展示

内 容	参 加 人 数	開 催 日
ジオサイト紹介展示①	158 人	4/3～4/18
ジオサイト紹介展示②	224 人	7/7～7/18
ジオサイト紹介展示③	402 人	3/19～3/21
シロザケ生態展示	902 人	10/12～11/13

オ おうちでサイパル

内 容	参 加 者 数	開 催 日
ストローグライダーやガリガリトンボなど、おうちで簡単にできる工作のキットを配布	14,223 人	4, 5 月は土日祝 6 月以降は毎日実施

カ 「いまの地球とみらいの地球」 演示

内 容	参 加 者 数	開 催 日
地球環境の現状や人類社会が抱える課題について、常設展示「いまの地球とみらいの地球」（デジタル地球儀）のコンテンツを用いた演示を実施	867 人	10/1～3/31

キ 「錯覚」で生活に潤いを

内 容	参 加 者 数	開 催 日
テーブルクロスや傘など、錯覚がデザインされている生活雑貨の紹介	436 人	4/24～5/16

(2) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール

科学的な探求心と想像力を伸ばし、科学に対する親近感を助長させることを目的とした、旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト。

【応 募 者 数】 小学生 20 人，中学生 7 人

【優 秀 作 品 展 示 会】 10/6～10/10

【特別賞受賞者表彰式】 10/10

【出 席 者 数】 44 人

イ 「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

小・中学生に宇宙や天文について夢と興味を持ってもらうことを目的とした、「宇宙の日」記念行事として開催される作文・絵画作品のコンテスト。

【応 募 者 数】

・作文の部 小学生 3 人 中学生 1 人

・絵画の部 小学生 9 人，中学生 7 人

ウ 科学技術週間行事（「一家に 1 枚」ポスターの配布）

科学技術の理解促進を目的とした文部科学省監修による『海 ～その多様な世界～』を自由に持ち帰ってもらえるよう、4 月 13 日(火)から館内に配置。

エ 科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品の一部を、開館時間中にエントランスホールにてリピート上映。

【期 間】 休館日を除く土日祝および長期休暇期間

【上 映 作 品】

- ・ たづ鳴きの里 ～タンチョウを呼ぶ農民たちの1500日～
- ・ NHKスペシャル 巨大地下空間 龍の巣に挑む
- ・ NHKスペシャル 新型コロナ 全論文解説 ～AIで迫る いま知りたいこと～
- ・ スギメ (3万年前の航海 徹底再現プロジェクト)
- ・ 変形菌のふしぎな一生
- ・ 介護崩壊 ～救えなかったクラスター～
- ・ ガリレオX 生物から学ぶ新技術 深化するバイオメディクス
- ・ 日本のチカラ ヒメタツに魅せられて ～再生へ向かう誇りの海～
- ・ 120秒の科学 未来につながる
- ・ NNNドキュメント'20 カネのない宇宙人 信州 閉鎖危機に揺れる天文台
- ・ なっとう いのちの力
- ・ かがくチップス 日本の骨格を描き出せ！ ～地質図作成プロジェクト～

オ 共催・協力事業

内 容	共 催 ・ 協 力 先	参加者数	開 催 日
ジオサイト紹介展示① (再掲)	大雪山カムイミンタラ ジオパーク構想推進協議会	158 人	4/3～4/18
ジオサイト紹介展示② (再掲)	大雪山カムイミンタラ ジオパーク構想推進協議会	224 人	7/7～7/18
旭川高専の学生による 3D プリンター&プログラミング	旭川工業高等専門学校	350 人	8/12, 13
第 31 回 私たちの身のまわりの環境地図作品展	環境地図教育研究会	167 人	10/30, 31
測量・ドローン体験学習	道北若力会	178 人	11/3
お米の科学館 at サイパル	旭川米産流通協議会 上川農業試験場, ダイビ(株)	968 人	1/7～10
旭川高専のエンジニアリング体験	旭川工業高等専門学校	325 人	3/5, 6
牛乳についての展示	上川生産農業協同組合連合会	642 人	3/19, 20
ジオサイト紹介展示③ (再掲)	大雪山カムイミンタラ ジオパーク構想推進協議会	402 人	3/19～3/21
デジタル地球儀で学ぶ SDGs	イオンモール旭川駅前店	50 人	3/27, 28

4 天文普及事業

(1) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般番組を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影を展開している。

ア 観覧者数

(単位:人)

区分 月	令和3年度					前年度	団体観覧	
	大人	高校生	小人	その他	小計		団体数	観覧者数
4月	930	31	864	86	1,911	58	5組	150人
5月	956	18	669	73	1,716	0	5組	31人
6月	213	3	199	28	443	1,065	2組	64人
7月	1,841	72	2,654	433	5,000	2,363	43組	1,297人
8月	2,198	53	2,301	245	4,797	4,146	13組	227人
9月	0	0	0	0	0	3,155	0組	0人
10月	1,144	21	2,305	350	3,820	2,800	50組	1,821人
11月	1,343	62	1,732	301	3,438	2,241	29組	1,024人
12月	867	20	994	173	2,054	590	18組	472人
1月	721	8	748	109	1,586	844	7組	228人
2月	504	17	333	57	911	1,193	4組	83人
3月	1,369	66	997	170	2,602	1,983	9組	92人
合計	12,086	371	13,796	2,025	28,278	20,438	185組	5,489人

※「その他」は観覧料免除者(手帳保有者若しくは要介護者とその介助者、引率者等)

※団体観覧は観覧者の内数

イ 投影内容(アの内数)

(ア) プラネタリウム一般番組

旭川の星空を中心に約40分の星座解説を行う。投影担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。番組は季節の星座のほか、テーマに沿った天文現象の解説などを行う。

番組タイトル	テーマ	投影回数	観覧者数	投影期間
北の親子星	北斗七星とおおぐま座、こぐま座	75回	787人	4/1~4/30
満月が欠ける?	皆既月食	62回	829人	5/1~6/30
天の川とブラックホール	天の川とブラックホール	139回	4,027人	7/1~8/31
巨大ガス惑星 木星・土星	木星と土星	64回	1,832人	9/1~10/30
星空ワールドツアー	北半球と南半球の星座の違い	113回	2,212人	11/1~12/31
しばれる夜の星物語	旭川や北海道の星空	115回	1,079人	1/1~2/29
太陽の通り道と12星座	12星座と黄道	66回	1,212人	3/1~3/31

(イ) プラネタリウム特別投影

a ドームシアター(全天周デジタル映像投影装置を利用した上映)

番組タイトル	内容	投影回数	観覧者数
HORIZON ~宇宙の果てにあるもの~	宇宙の果てを追い続ける研究者たちとその学説、歴史を宇宙背景放射の謎について	238回	4,220人

b プラネタリウム幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた 20 分前後の番組を製作・投影している。

番組タイトル	テ ー マ	投影回数	観覧者数	投影期間
わんわんわん	冬から春の星座，おおいぬ座，こいぬ座	32 回	803 人	4/1～4/30
よるのどうぶつえん	春の星座，動物星座	32 回	1,004 人	5/1～6/30
なつのほしとたなばた	夏の星座，七夕伝説	44 回	2,193 人	7/1～7/31
あのね，きょうりゅうさん	夏の星座，隕石と恐竜の絶滅	38 回	2,343 人	8/1～8/31
かぐやひめ	秋の星座，かぐやひめの話	0 回	0 人	9/1～9/31
ほしぞらえいご☆せいざ のやかたのハロウィン	秋の星座，惑星の話	19 回	783 人	10/1～10/31
クリスマスのふしぎ	冬の星座，クリスマス話	35 回	1,451 人	11/1～12/25
ふゆのきょうだいぼし	冬の星座，ふたご座の話	46 回	939 人	12/26～2/27
わんわんわん	冬から春の星座，おおいぬ座，こいぬ座	27 回	747 人	3/1～3/31

c プラネタリウム学習番組

時間や天候などの制約が多い実天観測に代えて，プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで，天文・宇宙に対する理解を促す。

番組内容	対 象	投影回数	観覧者数
かげと太陽（太陽の動きと影のつき方）	小学 3 年生	3 回	153 人
月と季節の星座（月の形と動き，季節の星座）	小学 4 年生	9 回	254 人
月と太陽（月の満ち欠け）	小学 6 年生	12 回	443 人
地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	中学生	3 回	196 人
太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星，銀河系など）		2 回	117 人

d プラネタリウム特別番組

番組タイトル	内 容	観覧者数	投影会日
夏のあにまりうむ	夏の夜空に輝く動物の星座や生き物にちなんだ天体と，旭山動物園の動物を比べながら紹介する特別番組	75 人	10/3
「熟睡」プラ寝たリウム	「日本プラ寝たリウム学会事務局」が実施する『「熟睡」プラ寝たリウム」に参加し実施した特別番組	50 人	11/23
ヒーリング投影『星の羅針盤～古代ポリネシアの夜空』	「健康」や「異文化理解」など一般投影とは異なる切り口で星空を見せる特別番組	98 人	11/6 12/11
冬のあにまりうむ	冬の夜空に輝く動物の星座や生き物にちなんだ天体と，旭山動物園の動物を比べながら紹介する特別番組	142 人	1/15
目と耳の惑星	ホルストの組曲「惑星」と共に，宇宙旅行する映像や惑星探査機が写した画像などを投影する特別番組	119 人	3/15

ウ プラネタリウムの学校授業での活用

内 容	参加者数	開 催 日
学校指導要領に沿った内容の「学習番組」を作成・投影する	170 人	11/16, 26, 12/23

(2) 天文台事業

ア 天文台見学

内 容	参加者数	開 催 日
昼間に見える星や月・惑星の観測	8,756 人	4 月～3 月

イ 星の教室

内 容	参加者数	開 催 日
流星を見よう	28 人	7/25
天の川銀河中心にある超巨大ブラックホールいて座 A*	28 人	10/31
お月さまの作り方：地球の月から系外惑星の月まで	30 人	11/28
今年の天文現象 2022	21 人	1/30
宇宙を支配するダークマターとダークエネルギー	35 人	3/27

ウ 親子天文博士

内 容	参加者数	開 催 日
親子で天体望遠鏡の組み立て・設置・観測の体験	—	(中止)

エ 天体を見る会

内 容	参 加 者 数	YouTube サイパルチャンネル での最大同時視聴者数	開催日
春の星と月・火星の観測	15 人	—	4/17
春の星と月・火星の観測	20 人	—	4/24
皆既月食の観測	—	223 人	5/26
春の星と月面 X(エックス)の観測	—	22 人	6/17
春の星と夏の星と月の観測	30 人	—	7/17
七夕の星の観測	30 人	—	8/7
夏の星と土星・木星・月の観測	25 人	—	8/15
木星・土星の観測	—	21 人	8/28
土星・木星・海王星の観測	—	16 人	9/4
土星・木星・海王星の観測	—	20 人	9/11
中秋の名月の観測	—	27 人	9/21
土星・木星・海王星の観測	29 人	—	10/2
土星・木星・海王星の観測	25 人	—	11/6

部分月食の観測	24 人	—	11/19
海王星・天王星・月の観測	25 人	—	12/11
天王星と月の観測	29 人	—	1/8
天王星と月の観測	25 人	—	2/10
月の観測	30 人	—	3/12

オ 夏・冬休み天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
天体望遠鏡の製作と使い方のレクチャーなど	19 人	7/30, 12/28

カ コズミック・カレッジ

内 容	参加者数	開 催 日
ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	9 人	8/3
モデルロケットの製作と試験飛行	10 人	8/4

キ 天体を撮る会

内 容	参加者数	開 催 日
土星と木星の撮影	8 人	10/7～10/10

ク その他の天文関係イベント

内 容	参加者数	開 催 日
星空ウォーク（展示）	2,705 人	4/1～12/24
モデルロケットの打ち上げ	325 人	5/3～5/5

5 学校等連携・人材育成事業

(1) 学校等連携事業

ア 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工工作・地学実習などのメニューを実施。

内 容	参加者数	開 催 日
「超低温の実験」, 「万華鏡づくり」, 「低温実験」, 「科学マジック」 など	889 人	通年で実施

イ プラネタリウムの学校授業での活用（再掲）

学 校	参加者数	開 催 日
上川中学校	17 人	11/16
西神楽中学校	136 人	11/26
神楽中学校	17 人	12/23

ウ 巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き、サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

学 校	内 容	参加者数	開 催 日
美瑛町立明德小学校	「パタリン蝶」, 「超低温の実験」	32 人	10/29

エ 学校授業・課外活動の受け入れ

内 容	内 容	参加者数	開 催 日
北海道旭川東高等学校	電子顕微鏡利用	8 人	8/6

(2) 人材育成事業

ア 実習生の受入れ

博物館法施行規則第 1 条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を、旭川市博物館と一体的に実施。

内 容	参加者数	開 催 日
学芸員実習	—	緊急事態宣言に伴う臨時休館により、中止

イ サイパル理科研修会

内 容	参加者数	開 催 日
めんどうなようで簡単な教材あれこれ	2 人	1/12

6 ボランティア事業

科学のおもしろさや学ぶ楽しさを、子供たちに伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」による、旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

(1) 概要

ア 団 体 名 サイエンスボランティア旭川

イ 代 表 者 鈴木 紘一（令和 3 年度）

ウ 設立年月日 平成 16 年 5 月 15 日

エ 登録会員数 81 名（うち事務局員 6 名，特別学芸員 50 名） ※令和 4 年 3 月末日現在

(2) 令和 3 年度従事者数（半日単位）

月	従事日数	延べ従事者数	月	従事日数	延べ従事者数
4 月	25 日	305 人	10 月	26 日	307 人
5 月	25 日	192 人	11 月	24 日	289 人
6 月	25 日	127 人	12 月	25 日	288 人
7 月	28 日	334 人	1 月	23 日	266 人
8 月	31 日	239 人	2 月	23 日	296 人
9 月	25 日	70 人	3 月	27 日	302 人
			合 計		3,015 人

※従事日数のうち、臨時休館中は事務局のみ

(3) 活動の内容

科学館の運営及び事業の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明・レファレンスルーム管理ほか
自主事業の企画・実施	「日曜ワークショップ」、「大人の教室」、「学生の科学展」等の開催
ミュージアムショップ関連	科学館 1 階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売

(4) 自主事業

内 容	参加者数	開 催 日
日曜ワークショップ	686 人	4 月～3 月の日曜日 (計 19 回)
(春休み・GW・夏休み・冬休み) かんたん工作	605 人	祝日・長期休暇期間 (計 17 回)
大人の教室	53 人	7/14, 25, 8/14, 10/7, 11/11, 18, 12/2, 2/8
出前ワークショップ	12 人	8/7
旭川学生の科学展 2022	575 人	1/23

※「出前ワークショップ」については、科学館利用者数として計上していない

(5) 問合せ先

【サイエンスボランティア旭川事務局】

〒078-8391 旭川市宮前 1 条 3 丁目 旭川市科学館内

TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310

ホームページ <http://asascience.blog.fc2.com/>

E-mail science_asahikawa@yahoo.co.jp

Ⅲ その他の取組

1 調査研究活動

(1) 太陽黒点や惑星・月などの天体観測

内 容		回 数	観測日
太陽黒点		120 回	4 月～3 月
恒星撮影（シリウスの伴星観測ほか）		3 回	5/18, 6/1, 7/17
月食観測		2 回	5/26, 11/19
彗星観測		1 回	12/9
惑星観測	木星の撮影	1 回	9/11
	土星の撮影	1 回	9/11
	金星の撮影	3 回	5/18, 7/21, 11/8
月面撮影		2 回	4/19, 6/17
流星群観測		1 回	8/12
国際宇宙ステーション太陽面通過		2 回	4/21, 6/6

(2) 野外自然観察空間の生態系調査（隔年実施）

（単位：種）

年度 調査対象		2008 年	2010 年	2012 年	2014 年	2016 年	2018 年	2020 年
植物	植樹地	75	68	67	61	66	68	69
	池周辺	56	33	35	37	40	56	28
昆虫		54	134	153	118			
鳥類		13	16	18	10			
小型哺乳類		2	3	1	1	2	0	0

2 刊行物

(1) 旭川市科学館報（令和 2 年度版） 令和 3 年 6 月発行，全 30 頁

- ア 旭川市科学館の概要
- イ 学習普及活動の内容
- ウ 調査研究活動/情報提供活動など
- エ 旭川市科学館利用案内

(2) 旭川市科学館研究報告第 17 号／旭川市博物館研究報告第 28 号

令和 4 年 3 月発行，全 26 頁（うち科学館研究報告 13 頁）

- ア 石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の 2021 年の記録
- イ 屋外探索ゲームにおけるスマートフォンの GPS 機能の活用
- ウ 展示物を活用した SDGs 普及の取組について

(3) 北における天文略表 令和4年1月発行, 全23頁

ア 日の出・入と薄明時間

イ 月の出・入と月齢

ウ 2022年の主な天文現象 ほか

3 広報活動

(1) 広報誌「こうほう旭川市民」での事業案内, 利用案内等の掲載

(2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供, 取材対応

(3) 科学館利用案内リーフレット, パンフレット等の配布

(4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校, 公共施設等に配布

(5) ホームページやSNSを通じて利用案内や事業情報等を発信

(6) 「旭川市科学館報」の発行, 配布

(7) レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置

(8) YouTube サイパルチャンネルを動画で配信

		動 画 数			再 生 数		
		新 規	過年度	合 計	新 規	過年度	合 計
令和3年度	実験	11 番組	32 番組	43 番組	2,028 回	34,302 回	36,330 回
	工作	5 番組	20 番組	25 番組	2,333 回	8,466 回	10,799 回
	常設展示室	3 番組	7 番組	10 番組	284 回	1,349 回	1,633 回
	プラネタリウム	13 番組	2 番組	15 番組	12,973 回	8,469 回	21,442 回
	ライブ配信	15 番組	—	15 番組	6,240 回	—	6,240 回
	ワークショップ	5 番組	—	5 番組	507 回	—	507 回
	合計	52 番組	61 番組	113 番組	24,365 回	52,586 回	76,951 回

1日あたり平均視聴回数 : 211回 チャンネル登録者数 : 701人 平均視聴時間 : 2分23秒

Ⅳ 旭川市科学館利用案内

1 開館時間・休館日

(1) 開館時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時まで（観覧のための入館は午後 4 時 30 分まで）

(2) 休 館 日

【毎週月曜日】 当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の平日

【年 末 年 始】 12 月 30 日から翌年 1 月 4 日まで ※1 月 2 日（日）は臨時開館

【毎 月 末 日】 土日祝日に当たるときは、その月末の平日
※12 月 29 日（水）及び 3 月 31 日（木）は臨時開館

2 観覧料

中学生以下の観覧料は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

(1) 1 日または 1 回の料金

科 学 館		博 物 館	観 覧 料 (円)			
常設展示室 (1 日)	プラネタリウム (1 回)	常設展示室 (1 日)	大 人		高 校 生	
			個 人	団 体	個 人	団 体
●	—	—	410	320	280	210
—	●	—	330	260	220	170
●	●	—	520	410	350	280
●	—	●	530	430	350	280
—	●	●	470	370	310	240
●	●	●	760	620	510	400

※団体料金は、同じ料金区分の者が 20 名以上の場合に適用

※次に該当する者の観覧料を免除

ア 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）

イ 介護保険法に定める要介護者及びその介助者（介助対象者と同人数まで）

ウ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方（1/10 の人数まで）

※次に該当する者の観覧料を 5 割減額

ア 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町在住の満 70 歳以上の方

イ 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生 20 名以上の団体

※特別展・企画展については、その都度実行委員会が定める額

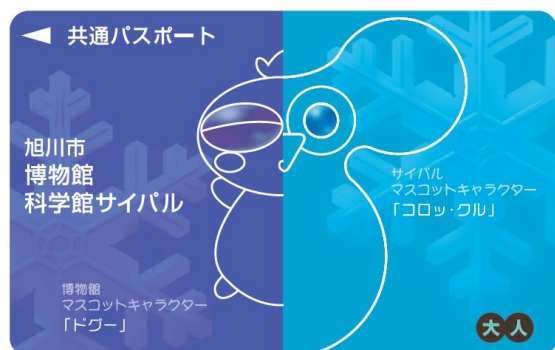
(2) 年間パスポート

対象施設を何度でも観覧できるパスポートを販売している。(有効期間：利用開始日から1年間)

種 類	対象施設	料金（円／枚）		販 売 場 所			
		大人	高校生	科学館	博物館	旭山動物園	市内公共施設 売店
科学館パスポート	常設展示室 プラネタリウム	1,040	660	●	●	—	●
博物館・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 博物館（常設展示）	1,560	1,040	●	●	—	●
動物園・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 旭山動物園	2,230	—	●	—	●	●



科学館パスポート



博物館・科学館
共通パスポート



動物園・科学館
共通パスポート

3 貸室事業

1 階の「特別展示室」と「学習・研修室」を、科学館事業等で使用しないときに、学会や市民団体等の各種イベント会場として貸出している。

(1) 貸室使用料

使用区分 \ 時間区分		午 前	午 後	全 日
		9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室	6,110円	6,110円	12,220円
	1/2室	3,050円	3,050円	6,110円
学習・研修室	全室	4,860円	4,860円	9,720円
	1/2室	2,430円	2,430円	4,860円

※使用時間に参加者受付等に要する時間を含む

※準備、原状回復（会場設営、回復、搬出、搬入）に使用する場合は上記料金の5割に相当する額。

※冷房料（7/1～8/31）及び暖房料（11/1～翌年4/30）を別途徴収

※使用者の過半数が30歳未満で、かつ公共的・公益的な活動を目的として使用する場合は使用料の5割を減免

(2) 令和3年度の使用実績

使用区分 \ 時間区分		午 前	午 後	全 日
		9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室	0件	0件	0件
	1/2室	0件	0件	0件
学習・研修室	全室	1件	9件	4件
	1/2室	0件	0件	0件

※科学館事業による使用実績を除く

4 施設へのアクセス

起点	交通手段	路線等
J R旭川駅 (27 番乗り場)	徒歩 25 分	—
	バス (「科学館前」下車)	①旭川電気軌道バス 82 番線 「南高行き」乗車 ②旭川電気軌道バス 84 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
1 条 8 丁目 (17 番乗り場)		旭川電気軌道バス 33 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
J R 旭川四条駅	徒歩 15 分	—
旭川空港	バス (「宮前通東」下車) 徒歩 5 分	・旭川電気軌道バス 77 番線 「旭川市内行き」
その他	自動車	・旭川鷹栖 I.C. から約 25 分 ・旭川北 I.C. から約 45 分



令和3（2021）年度版
旭川市科学館報 Vol. 14
令和4年6月発行

発行者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>
メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

旭川市科学館ホームページ



旭川市科学館
(Twitter)



サイパルチャンネル
(YouTube)



旭川市科学館天文チーム
(Twitter)



テック・ラボ
(Instagram)



テック・ラボ
(Twitter)

